

平成 24 年度（第 2 回）あわら市スポーツ推進審議会会議録

平成 25 年 1 月 15 日（火）
午後 7 時 30 分～午後 8 時 57 分
あわら市役所 204 会議室

（会議日程）

- 1 開会
- 2 教育長あいさつ
- 3 議題
 - （1）国体中央競技団体正規視察報告について
 - （2）第 67 回国民体育大会（ぎふ清流国体）視察報告について
- 4 その他
 - （1）平成 24 年度社会体育事業報告
- 5 閉会

（出席委員）

1. 吉江清治（会長） 2. 吉田昭博（副会長） 3. 戎 利光 4. 細川博治
5. 八木秀雄 6. 北田延子 7. 赤神芳幸 8. 林 清一郎 9. 見澤美和子
10. 大田秀美 11. 見澤喜美江 12. 能美 進 13. 吉川一郎 14. 城戸橋政雄

（委員以外の出席者）

教育長、スポーツ課長、同課長補佐、トリムパークかなづ所長

【 開 会 】

教育長 ～開会あいさつ～

【国体中央競技団体正規視察報告について】

委 員 内定している競技種目以外にもあわら市開催のコンタクトはあったのか。

事務局 あわら市では、カヌースプリント、バレーボール、ゴルフの 3 競技の内定を受けている。福井新聞に馬術競技のことが掲載されていたが、それについて、県馬術連盟の理事長がこのような構想を持っているということで計画図を持ってこられたため対応したのみで、教育長、理事者に報告するという事でお帰りいただいた状況である。

委 員 カヌー競技について、国体が一過性のもので終わるのではなく、町おこしの起

爆剤となることが望ましい。そのために今から考えていることはあるのか。

事務局 あわら市ではカヌーポロをメインに行っている。カヌースプリント競技は力を入れていない状況であるが、平成30年国体後も、ポロ大会時にスプリント競技を実施していてももらえないかとの意見がありました。しかし、地域の協力も必要なため、検討していくと返答した。なお、県のカヌー協会では昨年からカヌースプリント教室を実施している。

また、カヌーポロとレーシングでは艇が違うので、カヌーポロ艇での競走会というか、スピードを競ったりするミニ大会を開催するというような案は出ています。

委員 現在、スプリント競技の強化計画はあるのか。

事務局 県協会が育成のため、練習会を行っている。国体が終わっても財産として、ポロプラス、スプリントとして力を入れていくのが大切である。

委員 開催の最終決定はいつなのか。というのは、私もカヌーに携わってきて、カヌーポロをするにあたって、北潟の漁業権が問題になった。レーシングをする場合は、水深2mとなっているが、実際に測っているのか。

事務局 スタート位置で最低1.5mとなっている。

委員 掘削する必要はないのか。

事務局 視察の時、浚渫をするとすると多大な金額になるので、そういった無駄なことはしないように、スタートとゴールの位置を入れ替えれば浚渫をしなくて済むであらうということだった。

委員 ゴールを入れ替えると、赤尾側は水の流れがないからどうしてもつまってくるのではないかという懸念がある。そういったことも含めていつ頃結論が出るのか。実際問題として、カヌーについては難しい面もあるかと、私個人の意見だが、一番心配なのは漁業権で、やることによってうるおうこともあるが、それに伴う懸念もあると思うので、そこを慎重に、また、近県にはすばらしい施設があるので、そこを含めて検討してもらいたい。

会長 6年後の国体に向けて、今から選手を育成していく、地元選手がいることによって、その後も続けていけると思うので、市としても受け皿を作ってほしい。何とか育成してもらいたい。

事務局 地元の選手育成を考えていかなければならないと思う。

委員 北潟湖の深さがないとかいう話があったが、福井国体という県が、あわら市としては競技場を提供する、これは北潟湖を浄化するよいチャンスだと思う。

委員 北潟西区、東区の一部、浚渫が終わっている。予算は全部使っているのに、再度、区から県へ要望を出しているがなかなか通らない。これを機会に、全面的に再度浚渫をお願いするということが出来ないか。

委員 カヌースプリントは、中高年が健康づくりのできる種目か。

事務局 スプリントは特別な艇だが、カヌーポロ艇であれば可能。
会 長 ゴルフは問題ないのか。
事務局 ゴルフ場の問題で、特別大きな問題はない。
会 長 宿泊の問題はないとなっているが、旅館組合の了解は得ているのか。
事務局 昨年8月から各宿泊所へアンケート取らせていただいている。文書を持ってお願いしてきたが、旅館としては6年後のことだからわからないと言いながら答えてもらった。旅館の部屋数、定員に対して50%位の人数については、宿泊は対応できると聞いている。

あわら市の3競技の選手数については、あわら市の旅館で十分対応できる。

宿泊者実態調査をしていて、あわら市において提供可能な換算人数というのがあり、これは2,312名、宿泊予定数1,565名、747名の余裕という集計が出ている。国体は宿泊市町で参加者の宿泊を賄うとなっている。予定数は選手、役員数。競技の日程がずれれば多少の余裕は出てくるかもしれない。

副会長 あわら市の実行委員会というような形のものはいつ立ち上がるのか。準備委員会とか。

事務局 準備委員会について、各市町、25、26年あたりから立ち上げる予定をしているようである。あわら市としても、25.26年度には立ち上げたい。

【第67回国民体育大会（ぎふ清流国体）視察報告について】

会 長 バレーボールを視察してきたが、これだけの役員・ボランティアの数をあわら市で3競技集められるのかなということも思った。学生ボランティアにしても、あわら市には高校は1校しかない。絶対数が足りない、これをどうするのか。高校生だけでなく中学生もということになるのか。

事務局 カヌーとバレーボールについては、学生ボランティアスタッフが大勢いたが、ゴルフについては、少年の部のフォアキャディぐらいで、学生ボランティアは少なかったように思う。

会 長 あわら市体協としても、役員はボランティアスタッフとして出してもらうことになると思うが、実際、役員は開催地に行くことになり、全部が携われるかというところとは限らない。ボランティアスタッフといっても経験がないとできない。

事務局 運営に関しては、3競技あるので市の職員は総動員になると思う。特に、体協にお願いすることになるかと思うし、他にも婦人会やいろんな文化団体にもお願いして、あわら市全体を総動員しなければならないのではないかと考えている。

委 員 バレーボールは坂井市とあわら市だけか。

事務局 そうです。坂井市が少年、あわら市が成年。

専門的な運営は協会、知っている方で、おもてなし、駐車場といったところは、市職員とボランティアスタッフでやっていかなければならないと思う。

委員　　そういうのを決めるのは実行委員会ですか。

事務局　　そうですね。競技だけでなく全体を。

副会長　　今年のぎふ国体は11日間開催しているが、競技日がずれている。同じ市で日程が重ならないように要望することはできるのか。全部は無理でも、カヌーとバレーボールの日程をずらしてもらえるように。

委員　　観客の動員を学校に頼めないか。

会長　　国体になると、最低限の会場の条件はあるのか。

事務局　　ある。

委員　　応援に来てもらうには関心を持たせることが大事。

副会長　　少しでも早い準備委員会の立ち上げを望む。

委員　　以前は、民泊した地域の方が応援に来て盛り上げていた。

事務局　　あわら市は旅館に余裕がある。ない市町であれば、民泊を考えなければならない。

委員　　県によっては、テントを張って無償でその土地の物を出してくれていたが、あれは誰がお金を出しているのか。市か、協会か。

事務局　　おそらく市から多少の補助が出ているのではないか。

委員　　お昼は弁当ですよ。食中毒の問題もある。

事務局　　お弁当の集配については、本日何時までに食べてくださいとあった。

委員　　何年か前のインターハイでは、各旅館が全てメニューを統一していた。

事務局　　まだそういった話は出ていない。料金のランクの話は出ている。

副会長　　旅行業者が決まってから細かい事が決まるのではないか。

委員　　県が立ち入る部分と市町が立ち入る部分と線が引かれているのではないか。

副会長　　早く準備室等を立ち上げないと、こちらからの要望が伝わらない。

委員　　あわら市のカヌー協会と小学校長会が連携をして選手の発掘はできないか。

委員　　それは実施している。旧芦原町の小学校は全学校が、旧金津町の学校も理解をしてくれて大会に出てもらっているが、中学校にカヌー部がない。カヌースポーツ少年団でしている子はあるが。生徒数も減っているし、他の部との関連もあって難しい面もあるが、福井国体に向けて何とかお願いしていきたい。

副会長　　今、あわらトリムクラブで中学生を指導、小学生はスポーツ少年団で、高校生は金津高校で指導している。

委員　　国体に間に合うのか。

副会長　　スポーツ少年団上がりの子が7名ほど練習している。

会長　　市の方も横並びではなく、先頭をきって早めの立ち上げをお願いしたい。

委員　　カヌーのスタッフは何名ぐらい必要か。国体を視察した感じ、概数で。

副会長　　運営スタッフは70名ぐらい、学生は50名ぐらい。

委員　　大人よりも高校生が、カヌーを選手は触れないので、高校生が運んでいた。

副会長 山梨のB & G少年少女カヌー大会では、約 100 名のスタッフ、参加者 200 名の小さな大会で 100 名のスタッフが必要。

委員 石川県で北信越インターハイ大会があったが、石川県はカヌーをしている高校が 3 校あり、3 日間ローテーションで大勢の子が参加していた。

事務局 県からの資料に各種目の参加者数及び競技役員数の一覧がある。バレーボール成年男女、少年男女で選手 1,040 名、役員 245 名、カヌーはスプリント、ワイルド、スラローム合わせて、選手が 453 名、役員 234 名、ゴルフ競技は 3 種目、成年男女、少年、選手 441 名、役員 177 名、あくまでも予定。これは競技役員数であり、他にボランティアスタッフが必要になってくる。

市民あげての、運営が必要である。

【そ の 他】

- ・平成 24 年度社会体育事業について（経過報告）
- ・市民武道館の耐震補強・改修工事完成について（報告）

委員 トリムマラソンの参加人数が増えているのはいいが、コースを間違えて戻ったと聞いたが。

事務局 出発時間の見直しを予定している。

【閉 会】

会 長 質問がないようですので、会議を閉会します。

午後 8 時 57 分閉会